

福島第一原子力発電所 1号機オペレーティングフロアの 状況調査結果について

平成24年8月27日

東京電力株式会社



東京電力

1. 調査概要

◆目的

1号機原子炉建屋5階オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の状況を把握し、今後の使用済燃料プールからの燃料取り出し等の検討に資することを目的とする。

◆実施内容

カメラを取り付けたバルーンを用いて、以下の調査を実施予定であったが、
バルーンがケーブルと思われる物と干渉したため調査対象であるオペフロまで到達できなかった。

- －オペフロ上の屋根ガレキ、天井クレーン、燃料取替機等の状況調査
- －大物搬入口から機器ハッチ、SFPまでのアクセス性確認
- －オペフロ機器ハッチ開口部の線量測定

◆現場体制

- 当社社員：5人
- 協力企業：14人

◆作業時間

- 8月8日（水）
- 13：41～14：15

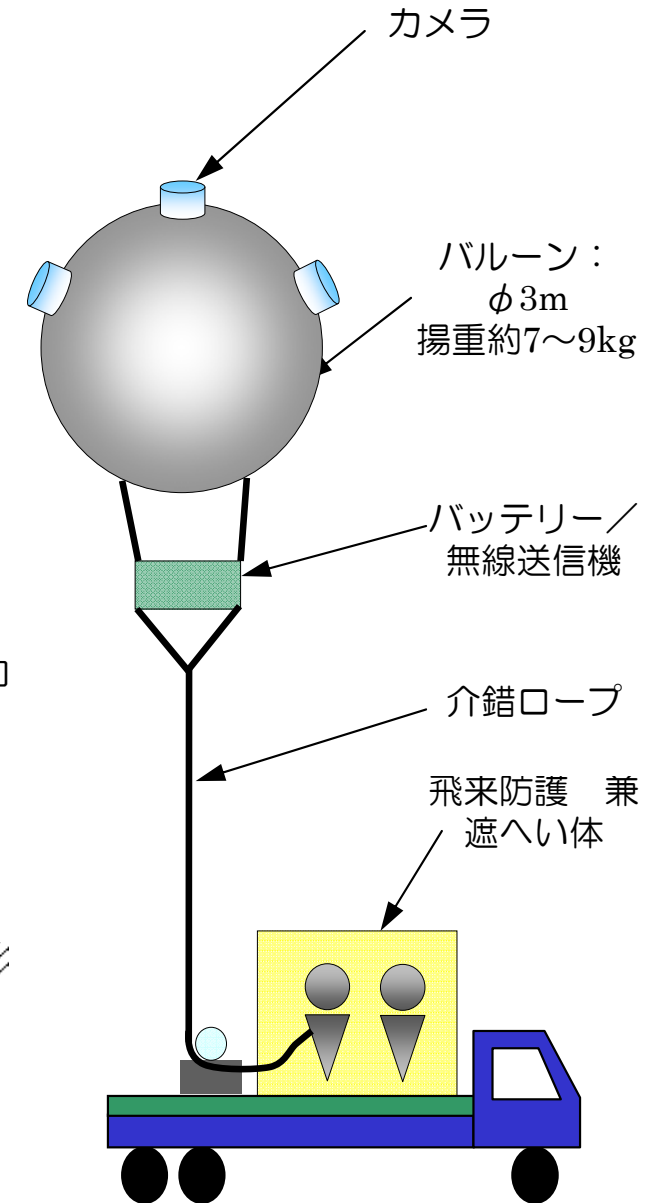
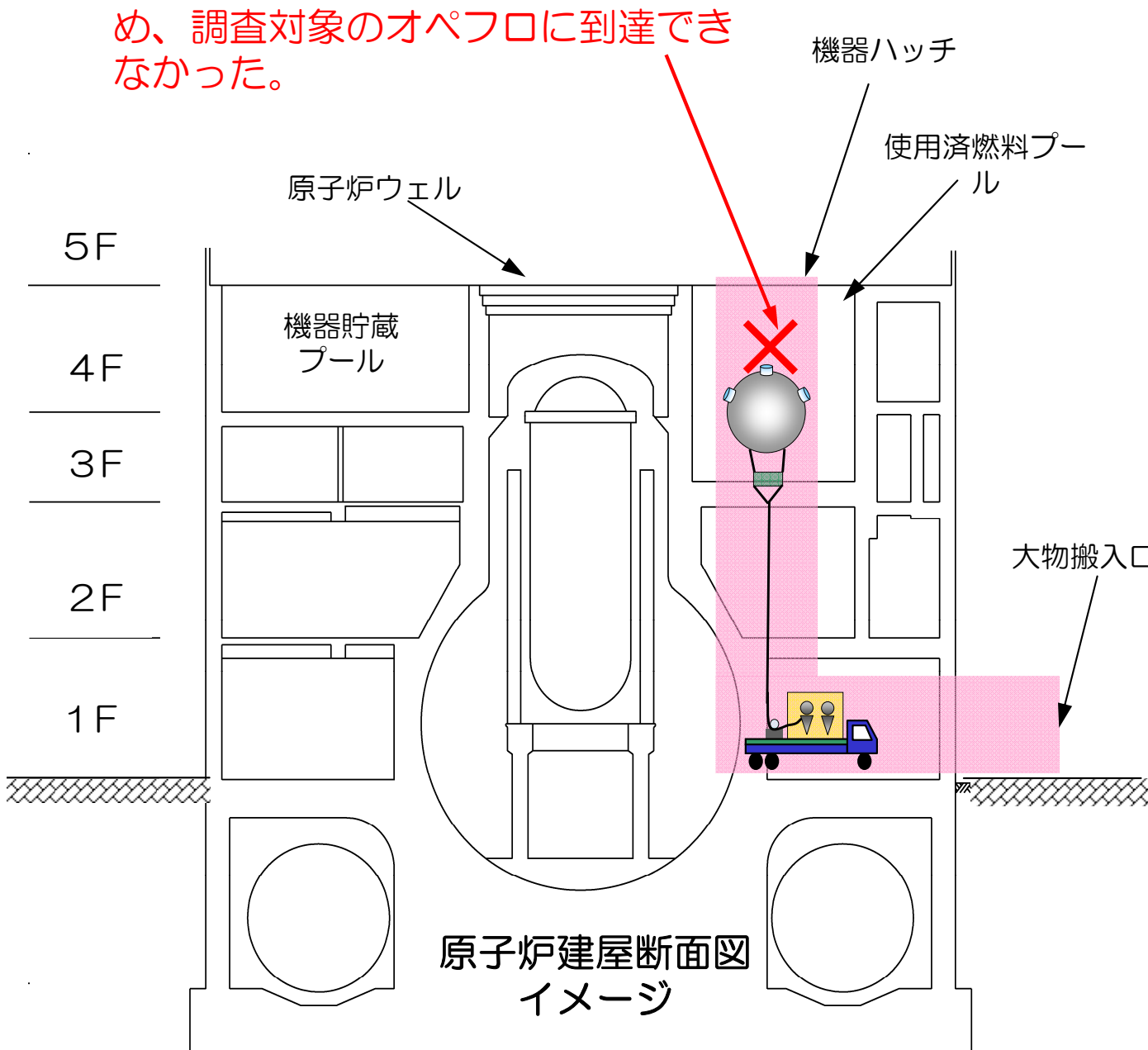
◆最大被ばく線量

- 1. 54mSv（計画線量 5mSv）



2. 調査イメージ

ケーブルと思われる物と干渉したため、調査対象のオペフロに到達できなかった。



3. 調査状況（バルーン外観）



バルーントラック積載状況

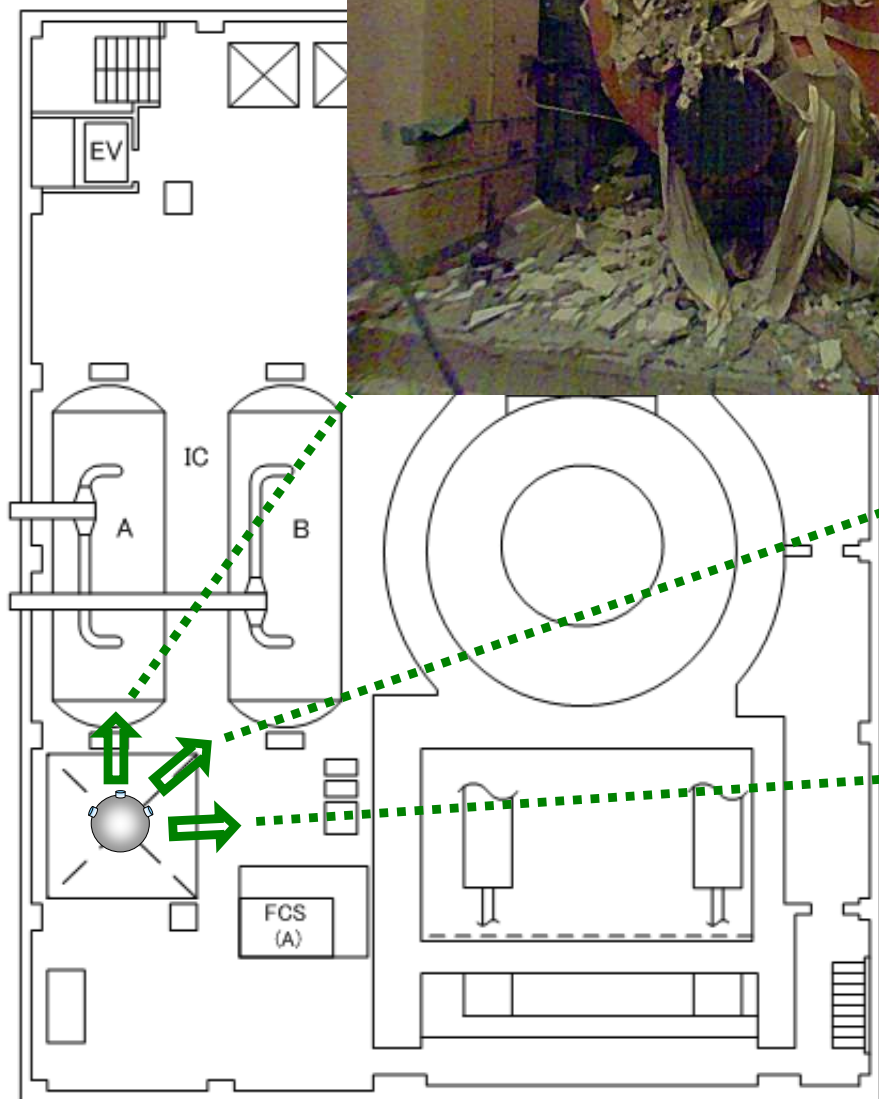


バルーン機器ハッチシャフト内浮遊状況
(真上を見上げた画像)



バルーン外観

4. 調査結果（原子炉建屋4階フロア状況）



5. 今後の計画について

◆今後の計画

同様の事象を繰り返さないために、開口部内の干渉物を確認する。
その上で、オペフロ状況を改めて調査したい。

◆調査方法

具体的な調査方法については現在検討中

◆調査時期

調査時期は、10月頃を予定